

飯田市こども家庭応援センターについて

飯田市 健康福祉部 子育て支援課

1 名称・場所

「飯田市こども家庭応援センター」 (以下「センター」という。)
りんご庁舎2階及び3階 (飯田市本町1丁目)

2 愛称

「ゆいきっず」

「ゆい(結)」 飯田らしさ・人と人の結びつき・支え合い

「きっず」 子ども・子育て・親しみやすさ

→ みんなの支え合いで、子ども・子育て家庭を応援しようという思いを込めています。

3 目的

子育てに関する総合的な支援の中核施設として、子育て家庭が孤立せずに安心して子育てができるよう、市民と行政が協働して子育て家庭を社会全体で応援する仕組みづくりを進めることを目指します。

4 役割・機能

(1) 機能1 : 市民協働による“子育て応援地域づくり”の要

多くの親子が寄り集まる場とし、市民が主体的に関わる場を創りながら、子育て家庭を応援する地域づくりを推進していきます。

(2) 機能2 : 発達相談・子育て相談の総合的窓口及び関係機関の包括的役割

専門職を配置し、より幅広い相談に気軽に応じられる窓口として、関係機関との連携により適切に支援につなげます。

5 職員について

所長の他、保健師、臨床心理士、作業療法士、保育士、家庭児童相談員、教育相談員、ケースワーカー、事務職等、常駐職員14名の体制でスタート (⇒2ページの別表を参照下さい)。

7 市民の皆さんにご利用いただける事業

(1) 「ゆいきっず広場」

○親子が寄り集まれる場として「キッズルーム」に簡易な遊具を置き、スタッフを常時配置します。親子で一緒に遊びながら、利用者親子が交流できます。スタッフが受けた相談を専門相談につなぐことも可能です。

・実施日時 火曜日を除くすべての曜日(土・日を含む)の9:00~16:00

・利用方法 保護者同伴とします。

・対象者 就学前の児童とその保護者

(2) 「ゆいきっず講座」

○保護者向けの学習や親子で楽しめる機会となるイベント等を実施します。

- ・会場としては、主に「キッズルーム」を使用します。
- ・実施曜日は、火曜日を基本とします。

(3) 「すくすくサロン」

○子育てに関する情報が得られる場所とします。「授乳室」も備えています。

- ・利用可能時間 毎日 9:00～17:15

(4) 子育てに関わる相談

○広く子育ての悩みに対応した相談を扱います。

- ・相談は電話又は窓口にて受け付け、専門職による相談は予約制とします。
- ・相談受付時間 平日の 8:30～17:15
- ・受けた相談は必要に応じて関係機関との連携により、適切に支援につなげます。
- ・センターでは、積極的に出向いて課題の早期発見に努めます。
- ・相談に係るネットワークについては別添資料を参照下さい。

(5) 参考

- ・靴を脱いでくつろげる場所として市民サロンの一角に「ファミリースペース」が設置されました。りんご庁舎開館中いつでも使用できます。

別表 職員構成

| 氏名 | 職種 | 備考 |
|-------------|-----------------|-----------|
| 藪和 巖 | センター所長(臨床発達心理士) | 新規採用 |
| 矢澤 美枝 | 保健師 | |
| 北沢 紀誉 | 臨床心理士 | |
| 吉野 諭美子 | 臨床心理士 | 新規採用 |
| 池田 優子 | 作業療法士 | |
| 木下 千代美 | 保育士 | |
| 村山 聡美 | 臨床心理士 | |
| 中島 千明 | 家庭児童相談員(教員OB) | |
| 中島 恒夫 | 教育相談員(教員OB) | 教育委員会より異動 |
| 福澤 恵利子 | 就学相談支援員(教員OB) | 教育委員会より異動 |
| 北沢 千恵美 | ケースワーカー | 福祉課より異動 |
| 塚原 茂樹 | 理学療法士 | 福祉課兼務 |
| 今村 陸哉 | 事務職 | 兼子育て支援係長 |
| 木村 綾子 | 事務職 | 兼子育て支援係 |
| 鹿角 瞳 | 事務職 | 兼子育て支援係 |
| 未定 | 言語聴覚士 | |
| 地域支援・発達支援学級 | 保育士 | |
| 地域子育て支援拠点事業 | 保育士等 | |

飯田市こども家庭応援センター
 担当 藪和、今村
 TEL.0265-22-4511 内線 5346
 FAX.0265-53-8867

図. 子どもの相談ネットワーク

